



平成24年4月26日

各 位

ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社
代表取締役社長 縣 将貴
(コード番号: 3390)
問合せ先 広報・IR部
電話番号 03-6892-3864

のれんの償却、棚卸資産評価損、減損損失に伴う 損失計上に関するお知らせ

当社は、下記のとおりのはれの償却、棚卸資産評価損、減損損失に伴う損失の計上をすることを決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. のれんの償却

<株式会社デジタルサイネージソリューション: 100百万円>

当社の連結子会社である株式会社デジタルサイネージソリューションは、2011年2月24日に当社の連結子会社とし、飲食店向けの電子看板事業を中心に行っておりましたが、震災による節電などの影響を受けたことで、当初予定をしていた事業計画から乖離が生じていること、また平成23年12月29日の「事業再編及び業績予想の修正に関するお知らせ」に開示しましたとおり、当社は現在収益のある事業への経営資源の集中を行っていくことから当初予定をしていた事業計画の見込みに対して、今後大きく乖離が生じることが予測されるため、2012年3月期通期連結決算において、のはれの一括償却に伴う特別損失として100百万円計上することに致しました。なお、当社の連結子会社である株式会社デジタルサイネージソリューションは来期以降も、デジタルサイネージのシステムの保守事業を継続して行っていく予定です。

<フロンティア株式会社: 28百万円>

当社の連結子会社であるフロンティア株式会社は、2009年10月28日に当社の連結子会社とし、主に採用事業、教育事業、派遣事業を行っておりましたが、採用・教育事業については、東日本大震災、昨今の経済不安定による企業の人材教育への投資需要低下などの影響があり、大幅な収益の悪化がありました。また、平成24年3月29日に開示をしました「事業再編による事業廃止及び特別利益の計上中止に関するお知らせ」のとおり、派遣事業については顧客からの安定した受注ができており、一定の収益が見込めるため来期以降も事業の継続をいたしますが、採用・教育事業からは撤退をすることで、予定していた事業計画に対して、今後大きく乖離が生じることが予測されるため2012年3月期通期連結決算において、のはれの一括償却に伴う特別損失として28百万円計上することにいたしました。なお、フロンティア株式会社は来期以降も、当社の連結子会社として、事業を継続いたします。

2. 棚卸評価損の計上

電子看板事業の棚卸資産において、市場価格の低下および競争環境の変化により資産価値が著しく減少していることから、「棚卸資産評価損」として、売上原価28百万円を計上いたします。また、電子看板

事業の固定資産において、「減損損失」として、特別損失6百万円を計上いたします。

3.今後の見通し

連結業績への影響につきましては、平成23年12月29日の「事業再編及び業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示しました平成24年3月期の連結業績予想に既に織り込んでおりますので、これに伴う修正はございません。

以 上